

町田市の交通施策

2006年8月31日（木）

1 . 町田市の概要

< 概 要 >

昭和40年代から大規模な団地造成や住宅開発により、急速に都市化が進行。

明治時代初頭から町田街道は「絹の道」と呼ばれ、「商都まちだ」の基礎を形成。

< 交通の概要 >

鉄道が市の外縁部を通り、バス路線は町田駅と鶴川駅に集中している。

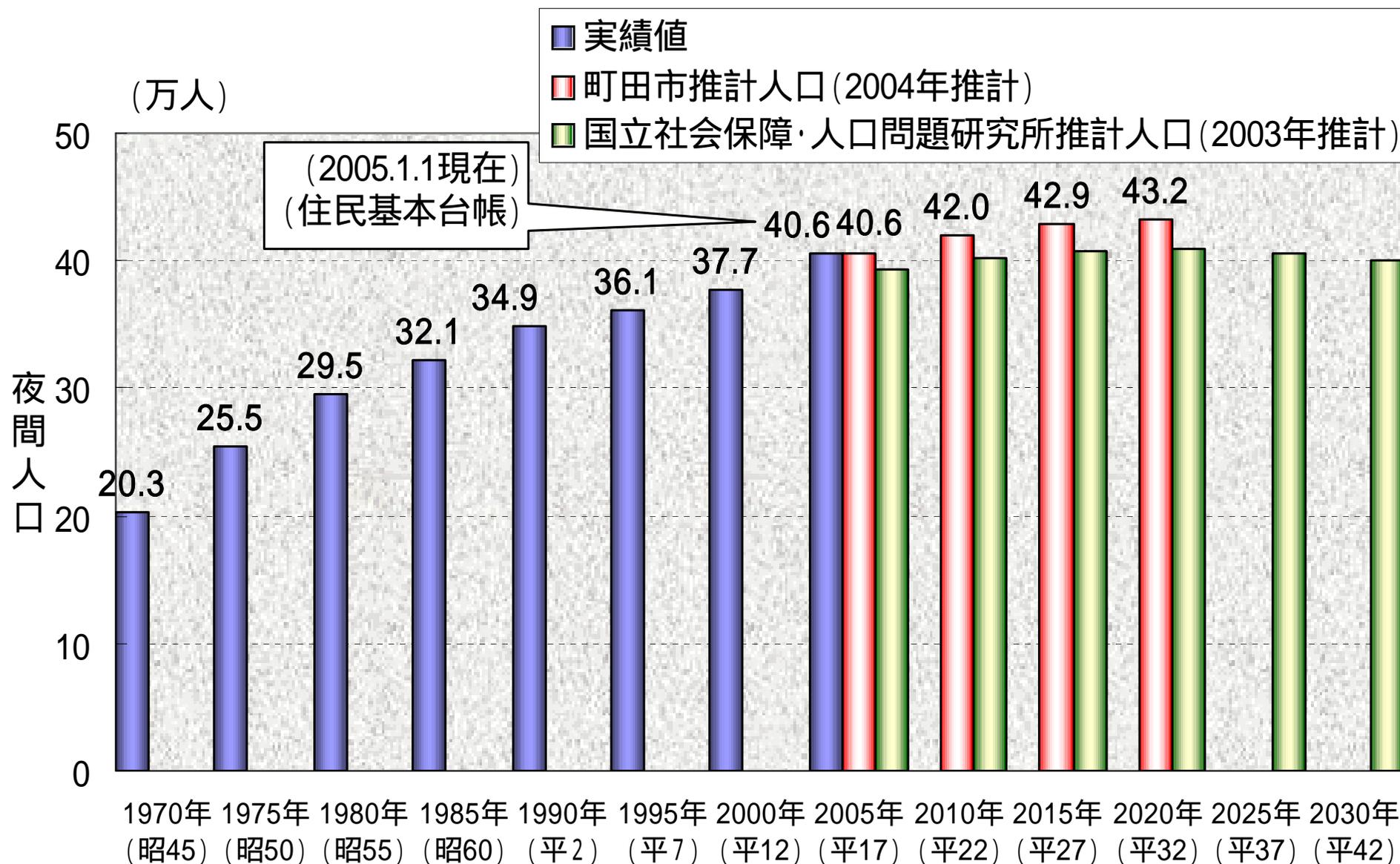
道路整備を上回る勢いで自動車交通量が増加し、交通渋滞はあまり改善されていない。



2 . 町田市の現状と動向 (人口の変化)

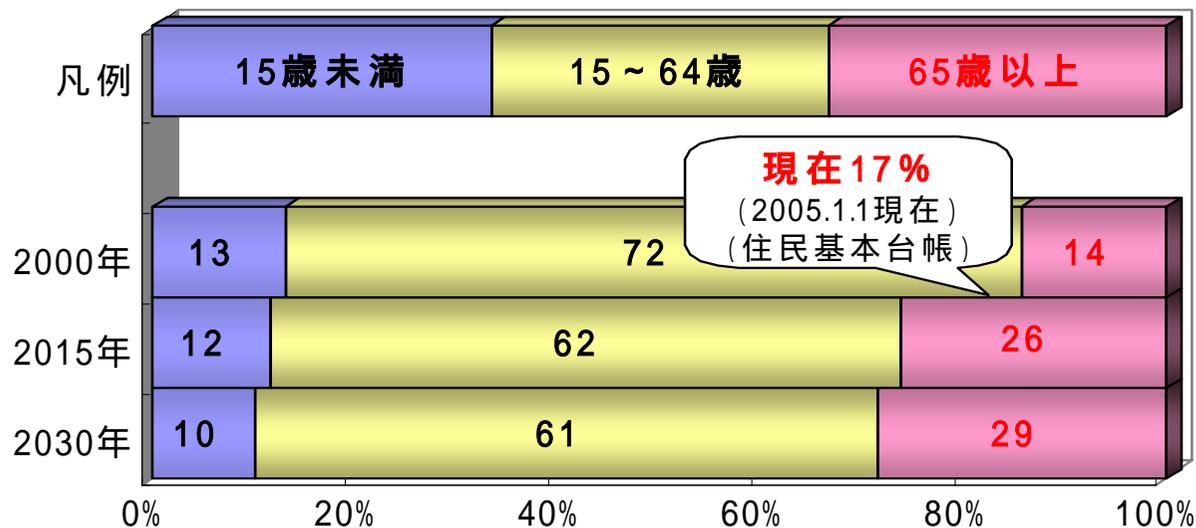
町田市の人口の推移と今後の見通し

注) 2000年までの人口は国勢調査による。

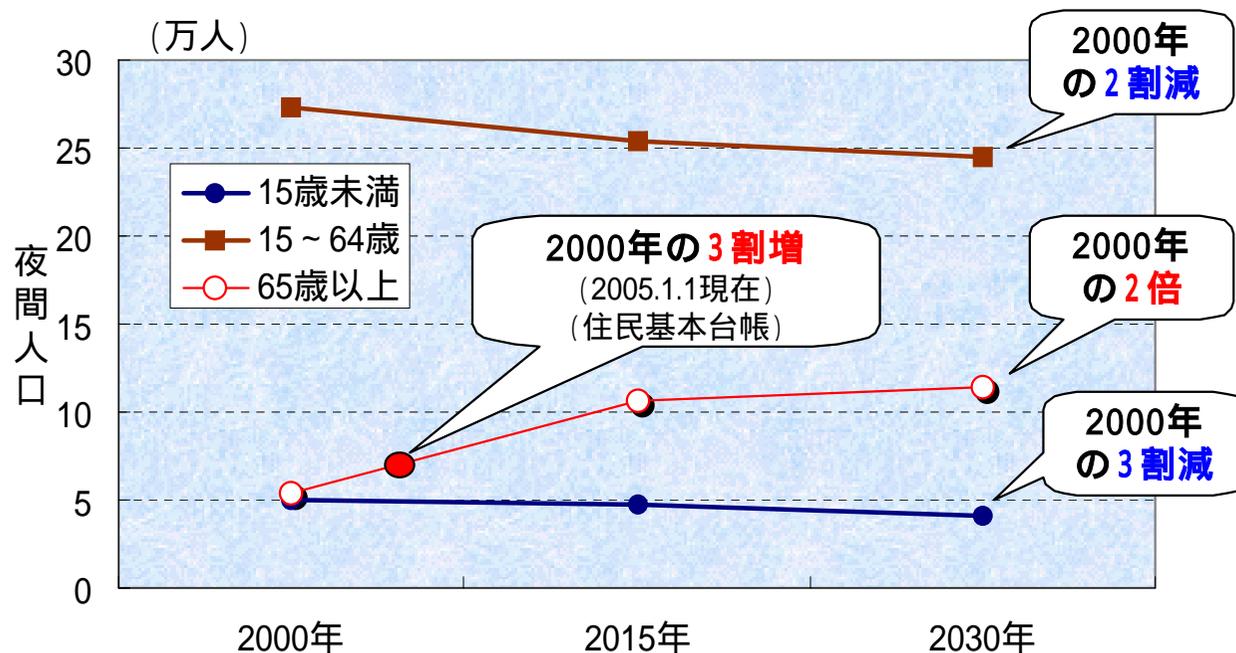


2. 町田市の現状と動向 (人口の変化)

年齢別人口構成比の推移と今後の見通し

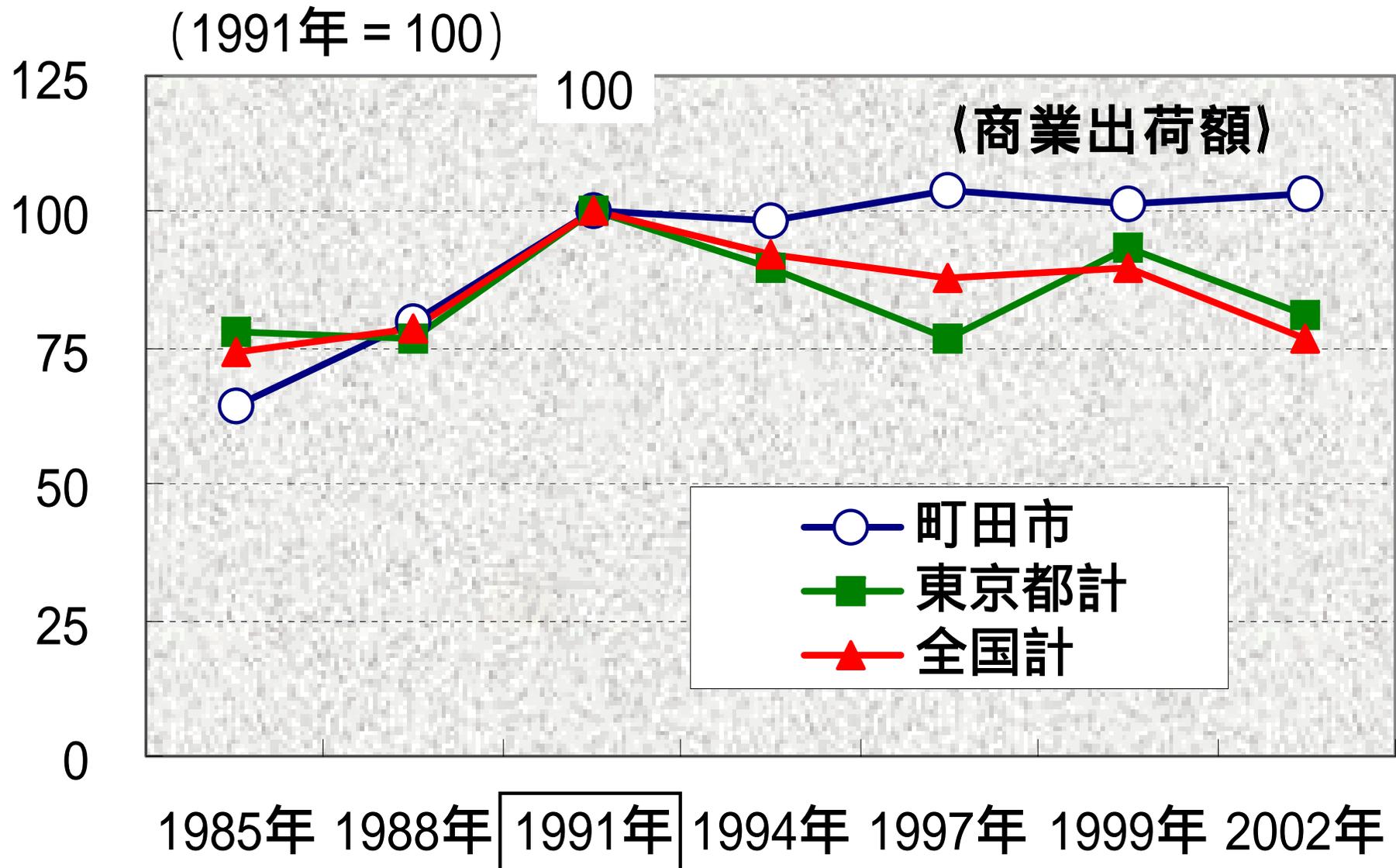


年齢別人口の推移と今後の見通し



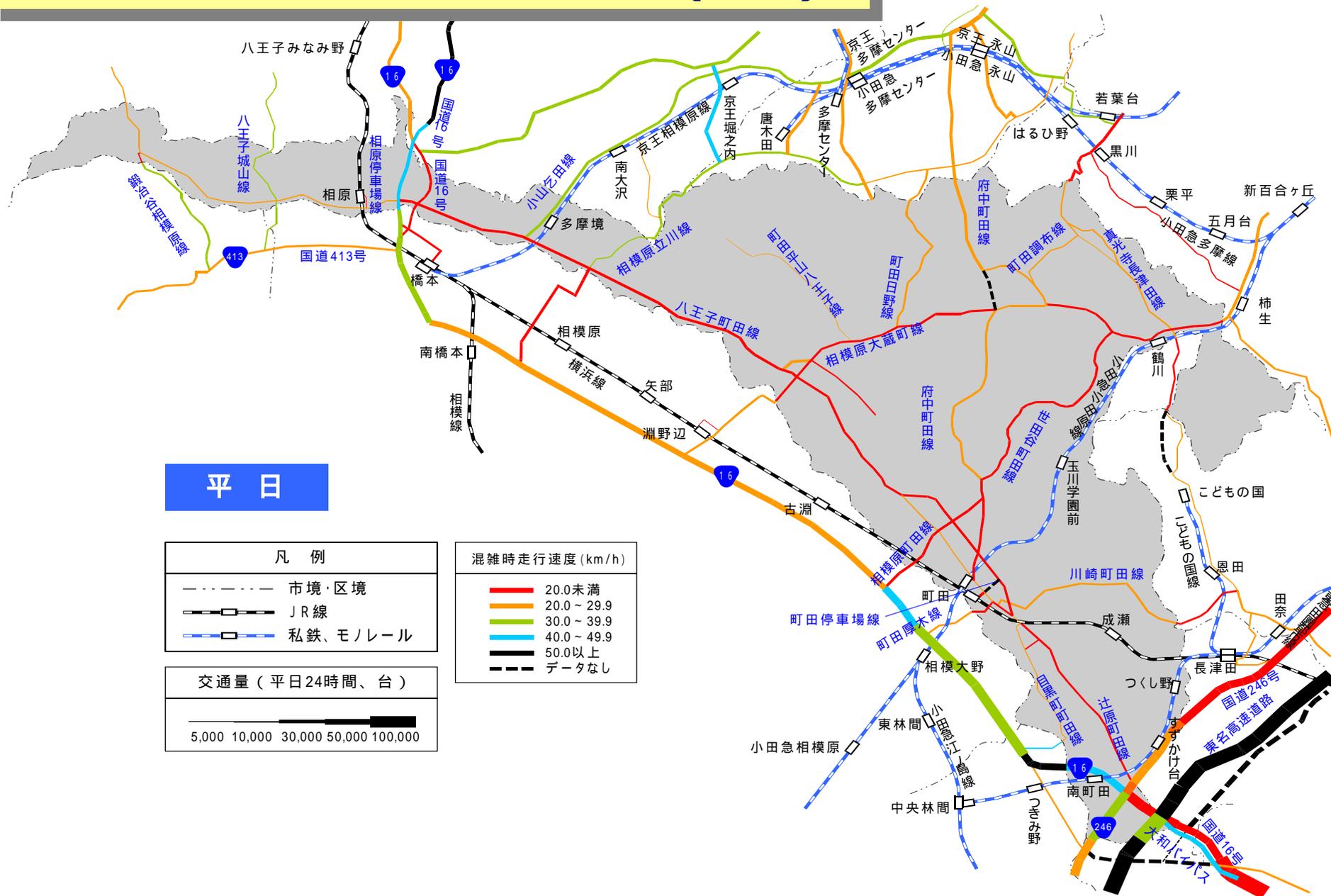
2 . 町田市の現状と動向 (産業・経済の変化)

商業出荷額の推移



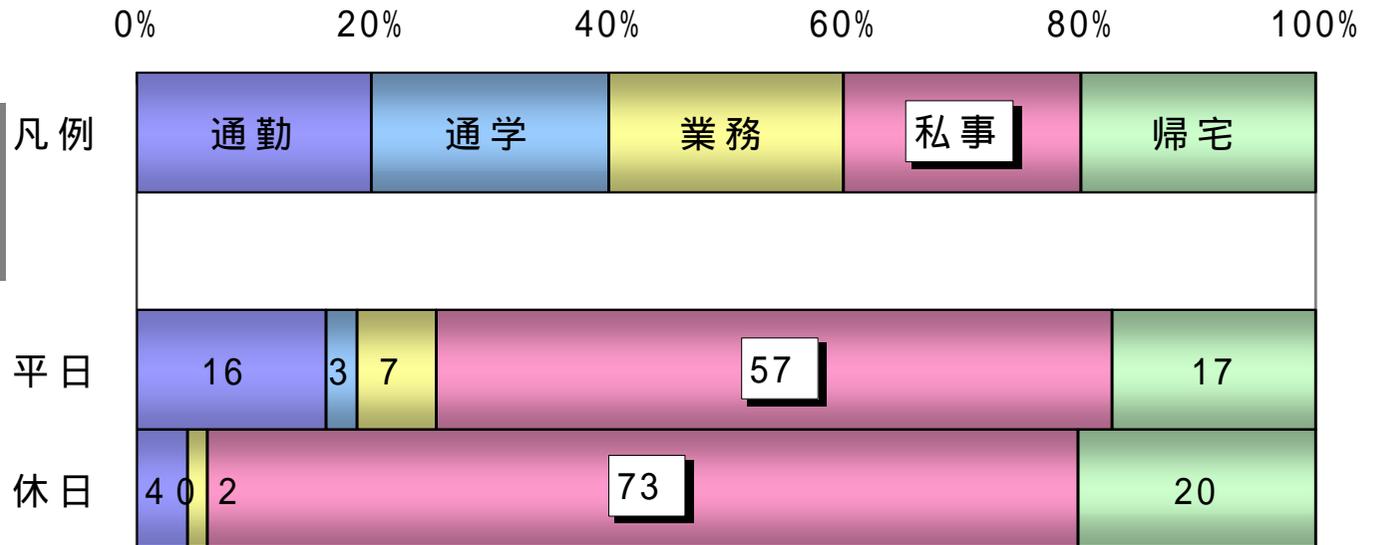
2 . 町田市の現状と動向 (自動車交通の現状)

幹線道路の交通量と混雑時走行速度 (平日)

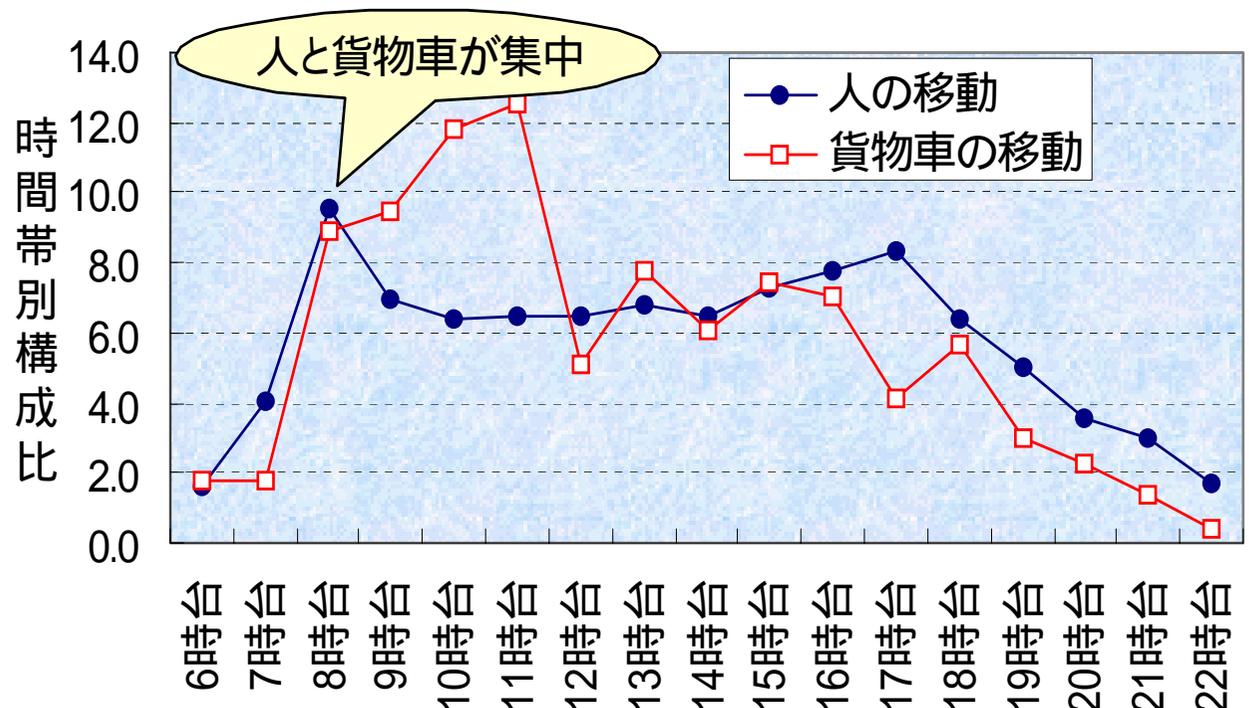


2. 町田市の現状と動向 (中心市街地の交通)

町田駅周辺地区 への移動目的

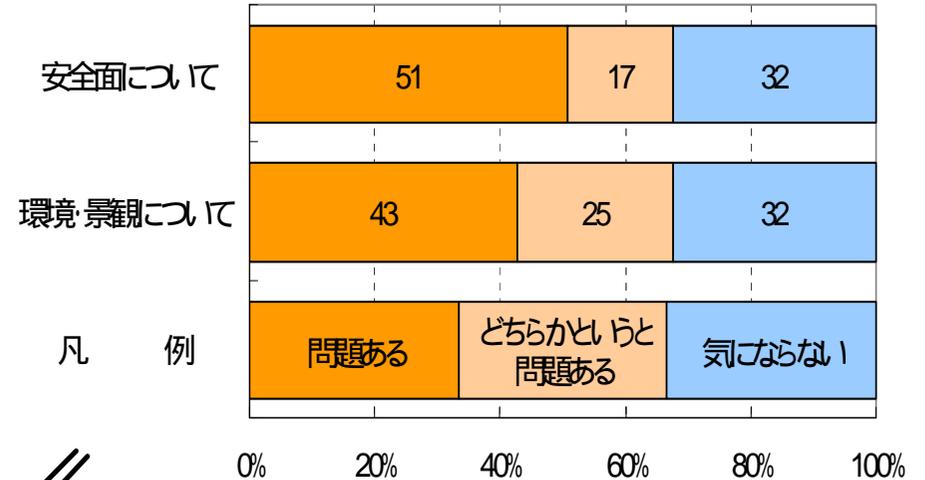
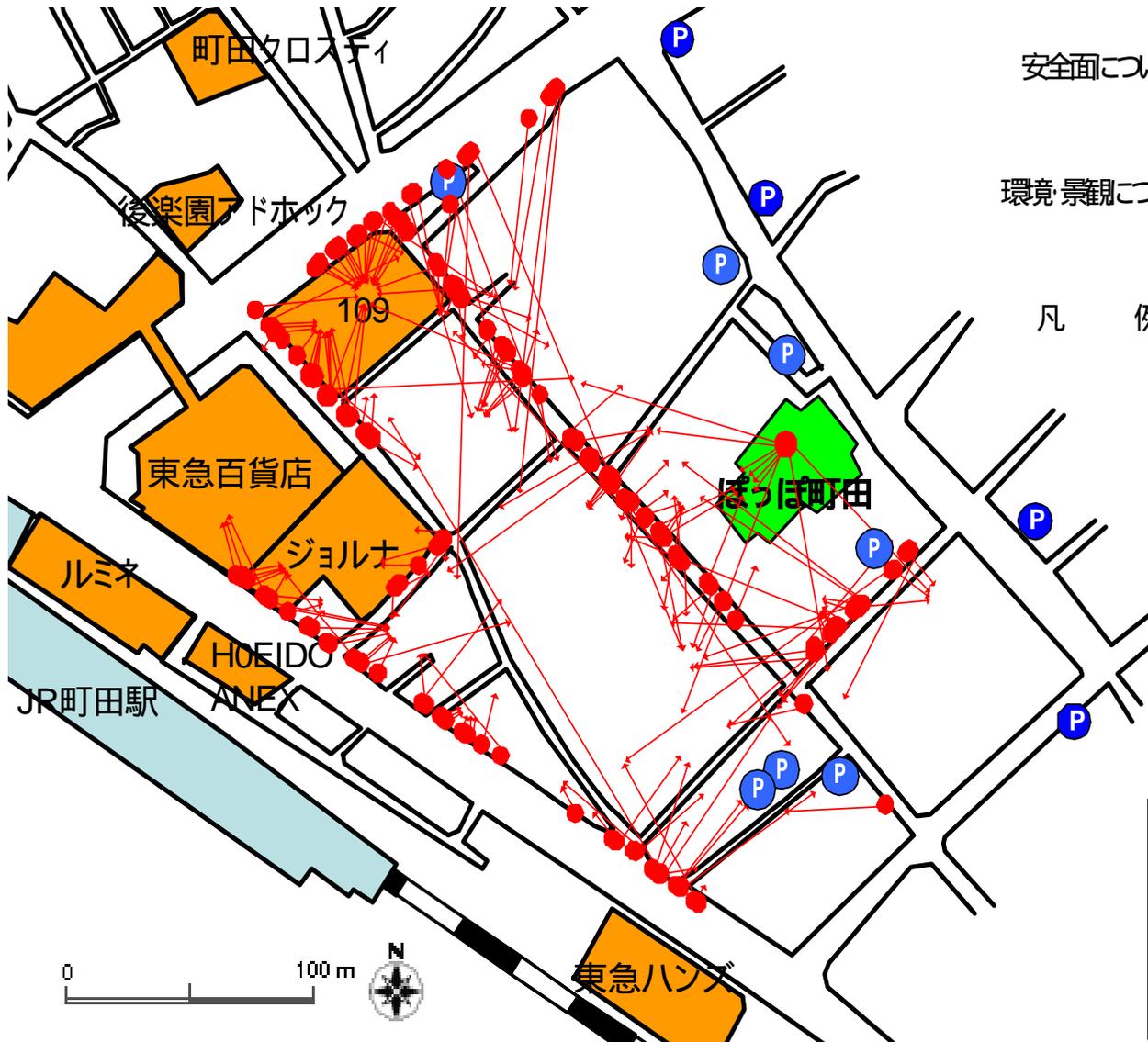


町田駅周辺の人と 貨物車の時間帯別分布



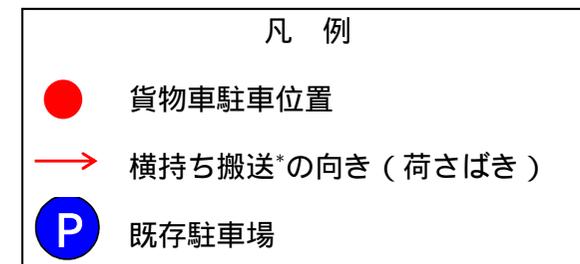
2. 町田市の現状と動向 (中心市街地の交通)

中央通り周辺での荷さばきの現状と来街者の意識



回答総数: 77

荷さばき車両に対する来街者の意識



3 . 町田市交通マスタープランの位置づけ

町田市基本構想・基本計画
(2004年3月改定)



町田市都市計画マスタープラン
(1999年6月策定)



町田市交通マスタープラン

国や東京都などの計画

- ・第5次首都圏基本計画
(1999年3月策定)
- ・運輸政策審議会答申第18号
(2000年1月答申)
- ・東京構想2000
(2000年12月策定) 等

町田市の諸計画

- ・町田市土地利用基本方針
(2002年12月策定)
- ・町田市中心市街地活性化計画
(1998年11月策定)
- ・町田市環境マスタープラン
(2002年3月策定)
- ・町田市高齢社会総合計画(第3次改定版)
(2006年2月策定) 等

4 . 計画の基本的考え方

基本目標

基本的な視点

「暮らしの安全・安心」 の実現

- ・高齢者や障がい者等の生活や自立を支援するモビリティの確保
- ・交通事故が少なく、災害にも強い道路ネットワークづくり
- ・社会経済活動への参加を支援する安全で快適な移動手段の確保

「持続可能な都市の活力」の実現

- ・都市の活力源となる交流・連携を促進する交通ネットワークの形成
- ・中心市街地の魅力を高める交通環境づくり

「環境の保全」への配慮

- ・環境負荷の少ない交通体系の確立
- ・環境負荷の少ない都市空間づくり

基本目標

だれもが公共交通を使って不便なく移動できるまちにする

< 公共交通施策 >

だれもが中心市街地へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする

< 中心市街地交通施策 >

人やモノが早く、正確に、信頼性高く移動できるまちにする

< 道路ネットワーク施策 >

交通による環境負荷や交通事故の少ないまちにする

< TDM施策等 >

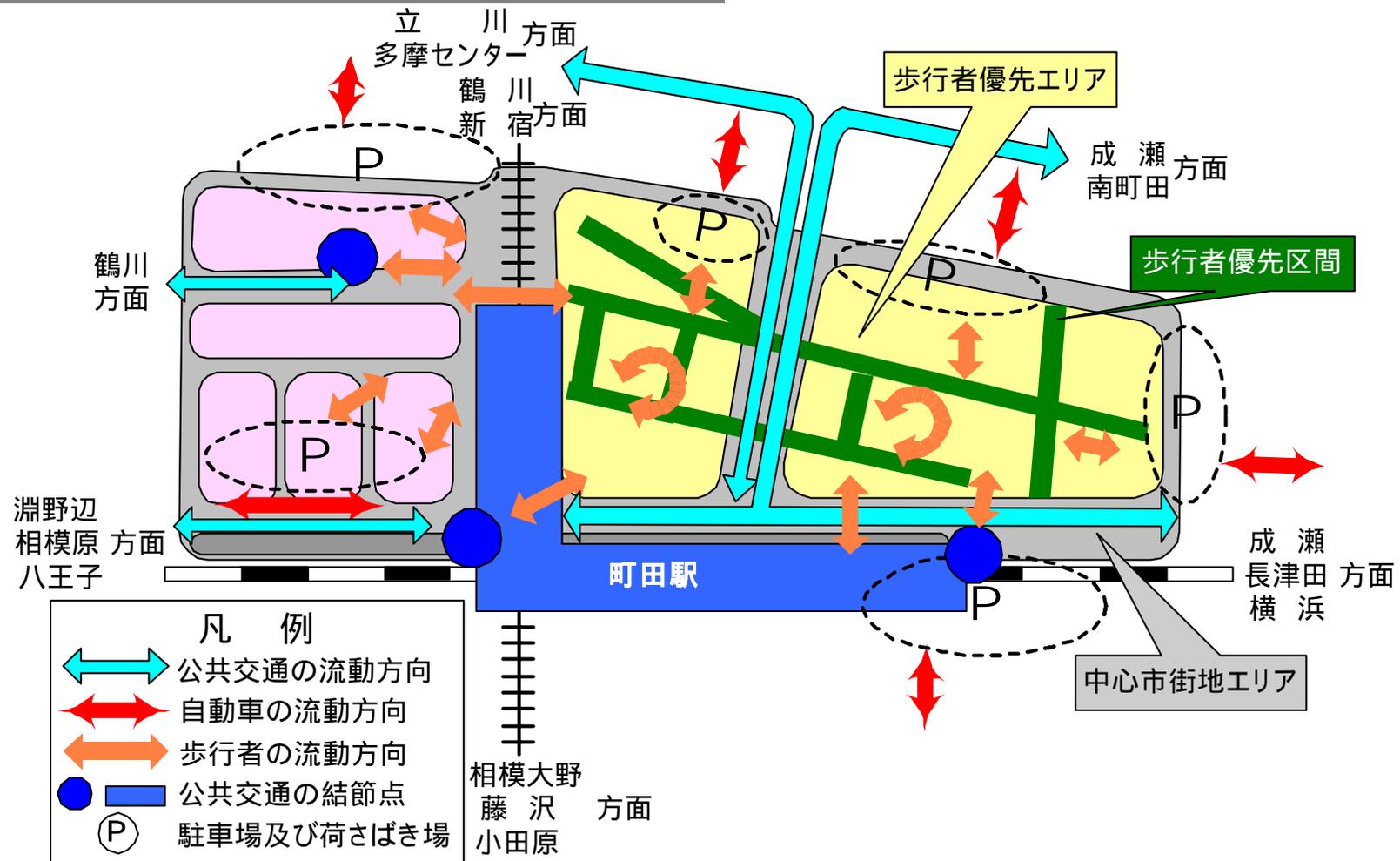
4 . 計画の基本的考え方

基本目標

だれもが中心市街地へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする

< 中心市街地交通施策 >

中心市街地の交通対策のイメージ



4 . 計画の基本的考え方

施策体系

基本目標 だれもが中心市街地へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする

重点目標 1 だれもが公共交通でアクセスしやすい中心市街地にする

個別目標(1) 交通渋滞を緩和し、バスの定時性を向上する

個別目標(2) 公共交通利用者への案内や料金サービスを向上し、公共交通を利用しやすくする

個別目標(3) バスやタクシーなどの乗降空間を整備する

重点目標 2 だれもがより楽しく滞在できる中心市街地にする

個別目標(1) 歩行者中心の回遊性の高い快適な歩行空間を提供する

個別目標(2) 貨物車が歩行者の通行を妨げることなく、効率的に集配送できるようにする

個別目標(3) 高齢者や障がい者、子どもなどが安全で安心して移動できるようにする

4 . 計画の基本的考え方

個別目標 - 2 - (2) 貨物車が歩行者の通行を妨げることなく、効率的に集配送できるようにする

共同集配施設の利用促進

共同集配施設ぽっぽ町田(株)町田まちづくり公社)の周知と利用促進を図る。

荷さばき場所の受け皿を整備・共同集配施設の新規整備を検討

道路上での秩序ある荷さばきスペースの設置を検討。

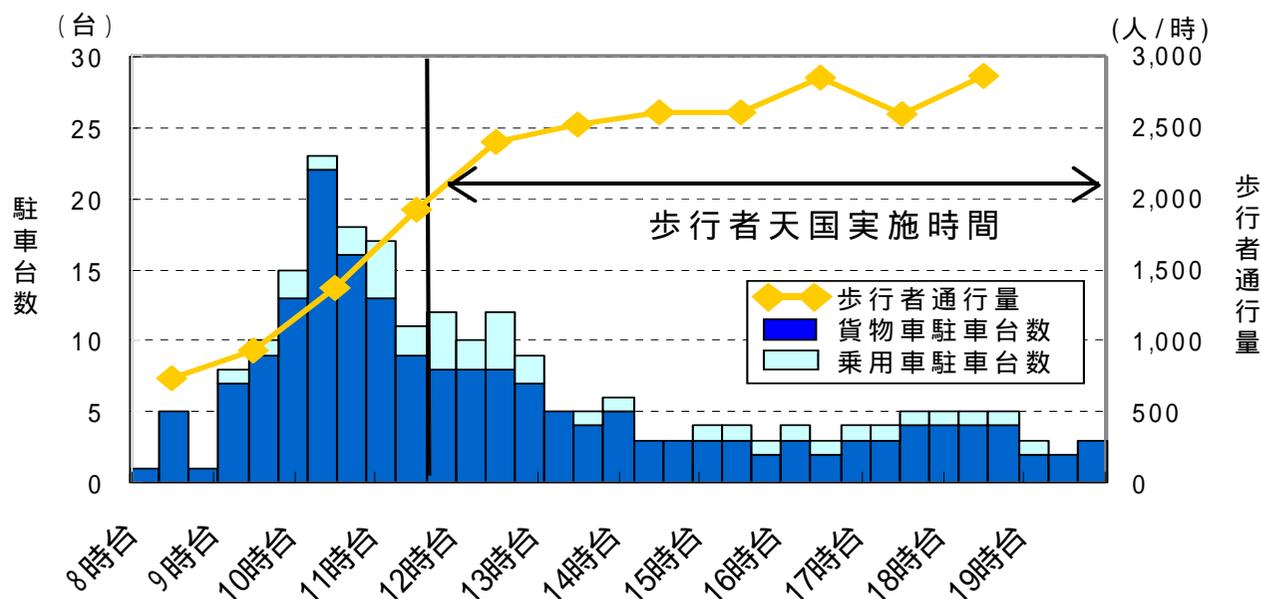
既存駐車場(コインパーキングなど)の活用を駐車場経営者に働きかける。

既存の施設や空間でカバーできないエリアは、新たな共同集配施設の設置を検討。

商店街内共同配送システムの確立に向けた調整

歩行者の安全性・快適性を妨げず、効率的に商店街への搬入・搬出を行える配送システムの確立。
商店街における協力体制を整え、共同配送システムの確立に向けた調整を行う。

時間帯別の路上 駐車台数の変化



5 . 計画の推進に向けて

取り組みの留意点

- (1) 交通マスタープラン推進のための協働体制の確立
- (2) 施策展開の具体化に向けた詳細な検討
- (3) 情報提供や社会実験の実施
- (4) 計画の進行管理・評価や定期的な見直し

交通マスタープラン 推進のための 協働体制の確立

